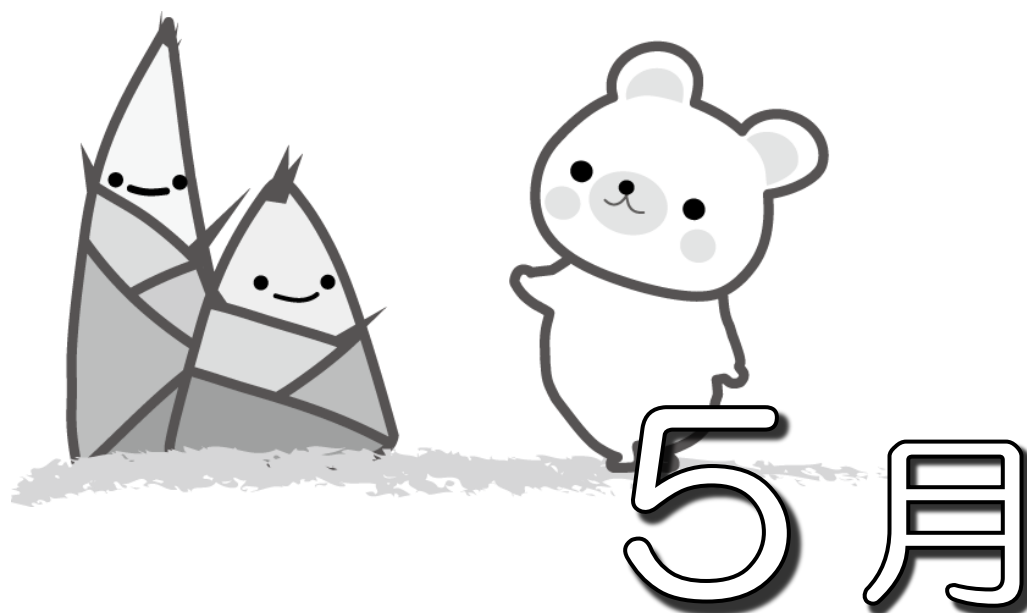


ニーズレター

(2015年 特集号)

グループホームネット 香川



もくじ

- 理 事 長 巻 頭 言 (2)
- 香 川 県 防 災 セ ン タ ー を 訪 れ て (2)
- 災 害 か ら 身 を 守 る た め に (3)
- 防 災 訓 練 に 参 加 し て の ア ン ケ ー ト (5)
- 事 務 局 便 り (8)

▼ △ ▼ △ 理事長巻頭言 ▼ △ ▼ △

「グループホームネット香川」の動き

理事長 細谷 要一

ニーズレターは、5年ほど前から年3回の発行になっています。その流れからいうと、次は7月の発行ということになりますが、3月19日の臨時総会においてお話しした「グループホームや理事会の活動状況を、会員皆様にこれまで以上にお伝えしたい」とお約束したこともあり、今月発行することになりました。

昨年末に計画した「防災訓練」が、生島町にある県の防災センターで3月13日に実施され、グループホームネット香川からは入居者とホームワーカー、理事が参加しました。内容は煙避難体験や地震体験という体験型の訓練で、参加した入居者からはこの訓練体験から「火事や、災害の恐ろしさが身にしみて解った、参加してよかった…」との声があがりました。

この号は、先の火事で亡くなられた入居者への思いを胸にしながら参加した、入居者とスタッフ、理事からの報告を集めた特集という形になりました。

グループホームネット香川は、その設立の理念と会員により議決された事業計画に沿って、その活動をすすめてきましたが、今年に入り、入居者が命を失うという、あってはならないことが起こってしまいました。この訓練がもっと早く行われていたらと悔やまれます。この出来事から我われが、しなければならないことは、何が十分でなかったのか、何が必要でどうすべきなのかを考えることによって、より安全で安心して生活できるグループホームにしていくことです。

そして、安心できる生活の場を提供した上で、入居者一人ひとりの自己実現に向けて、支援者はその役割・使命をしっかりと意識しながら、運営・業務を前進させていかなければならないと考えます。

▼ △ ▼ △ 防災訓練に参加して ▼ △ ▼ △ 香川県防災センターを訪れて

理事 うちだはかる

去る3月13日、各グループホームの入居者やホームワーカーと共に生島町の香川県防災センターを訪れました。センターは、香川県消防学校の訓練棟の一階に併設され、スタッフが常駐しています。月曜日が休館で、それ以外は自由に見学・体験ができます。ただし、10名以上は予約が必要だそうです。

私たち総勢12名は、初めての体験でした。防災センターのスタッフの方が、それぞれの体験コーナーを案内してくれるので、安心して体験することができました。最初に「映像体験コーナー」では、防災をテーマとした映像を観ることで、防災の心構えを学び、「暴風体験」「煙避難体験」「地震体験」「消火体験」などを体験しました。

入居者の中には、実際の体験をする人や体験を見ている人など、さまざまでしたが、体験風景を観るだけでも「良い経験」になったのだと思います。

今後、まだ防災訓練センターを訪れていない入居者の方も、ぜひ訪れていただきたいと思います。観るだけでも、防災へのイメージが描けるのではないのでしょうか！

ご希望の方は、ホームワーカーにその旨伝えれば、サービス管理責任者の増田が時間調整などしてくれるはずですよ。

新しい体験をするには、多少の「ヤル気」が必要なものです。私たちも新しい体験をすることに戸惑うものですが、ともに新しい体験を行うことで、自分の引き出しを増やしてみませんか！



「災害から身を守るために」

ホームワーカー 河野 幸子

皆さん、防災に対する備えは万全ですか？

「はい」と答えられた方、もしくは「災害なんて自分には関係ない」「備えなんて面倒くさい」「何をしてよいのかわからない」と答えられた方もいらっしゃると思います。災害は決して他人事ではありません。皆さんの日常で起こり得ることなのです。

グループホームネット香川でも、今年2月に痛ましい出来事がありました。入居者の自室から出火し、煙による一酸化炭素中毒が原因で尊い命が失われたのです。この事実は職員および他の入居者の心に大きな衝撃を与えたばかりではなく、命の本当の大切さを実感し、災害に対する備えや知識および技術が重要であると痛感させられまし





た。

グループホームでは、入居者一人ひとりが防災を前向きに捉えてほしいと願っていますが、大上段から防災を堅苦しく考えるとなかなか実際には至らないもの。それが現状です。

そこで私自身は、「防災って何だか堅苦しくて…」と思っている入居者に、「楽しむ防

災」を提案してみようと考えました。

例えば散歩時に、新芽の緑輝く木々を楽しみながら、避難場所や、災害時に対応可能な自動販売機の確認。商業施設等に出かけた際に、非常口や誘導灯の確認。外出時にマンションの火災報知器や消火器設置場所の確認等、何かのついでに、気軽に出来ることから勧めたいと思っています。皆さんもいかがでしょうか。

県内には、さまざまな防災体験はもちろん、知識および技術を学ぶことの出来る「香川県防災センター」が高松市生島町にあります。是非一度、肩肘張らずに気軽に楽しみながら防災体験をしてみませんか。その施設および内容の充実度が県内の防災力を示す指標（バロメーター）にもなる



そうです。私達の自治体は災害時に頼りになるのか、そんな視点で体験、観察するのにも一興だと思えます。また、機会があれば各地の防災センターに足を運んでみてはいかがでしょうか。意外なことに、レジャー感覚で気軽に防災にふれることの出来るイベントはたくさんあるそうです。楽しんでいる内に「気がついたら防災」くらいがちょうど良いのかも知れません。

皆さん、各家庭に配布されている防災マップはお持ちですか。このマップには、避難場所や災害危険区域などが色分けされ、とても丁寧に作成されています。改めて目を通してみてはいかがでしょうか。

災害はいつどこで起きるかわかりません。「備えあれば憂いなし」この言葉の通り、「ここは大丈夫」「自分は大丈夫」などと自分勝手に判断せず、最低限の行動や備えは必要です。楽しみながらでも構いません。命を守る「いざ」に備えませんか！

▼△▼△ **防災訓練に参加してのアンケート** ▼△▼△

昨年度、グループホーム内の入居者会議で防災について入居者と話をしてきましたが、話をするだけでは防災について自分たちの生活に身近な問題として考えられない様子が伺えました。

今回、実際に防災センターでの防災訓練に参加したときの入居者の様子を見てみると、それぞれ防災に対する意識が変化したように見えました。

防災訓練に参加して、体験することによりどのような意識の変化があったのかを知るために、参加した入居者に対してアンケートを実施しました。

参加された入居者について(表内における数字は人数を表しています)

	人数	30代	40代	50代	60代	70代
男性	3			3		
女性	4	1		2	1	

問1) 映像体験について

①映像を観て参考になりましたか

参考になった	ならなかった	観ていない
5	0	2

②映像を観てどう思いましたか

怖かった	辛かった	何も思わなかった	観ていない
4	0	1	2

問2) 消火体験について

①消火器を使ったのは初めてですか

初めて	使ったことがある
5	2

②今回の体験では、上手く使えましたか

使えた	使えなかった
7	0

③非常時にきちんと使えると思いますか

使えると思う	不安が残る	使えない
3	4	0

問3) 暴風体験について

①暴風を体験または体験の様子を観て、どう思いましたか

怖かった	大丈夫だと思った	何とも思わない
7	0	0

②暴風に対する備えについて何か考えましたか

考えた	考えなかった
6	1

③暴風に対する備えを実行しましたか

実行した	実行していない
0	7

④「実行した」と答えた方はどのようなことをしましたか

・台風の備えをしないといけないと考えた

問4) 煙避難体験について

①上手く避難ができましたか

出来た	出来なかった	体験していない
5	0	2

②体験をして、体力的にどうでしたか

大丈夫だった	しんどかった	体験していない
5	0	2

③非常時に冷静な行動が出来ると思いますか

出来ると思う	不安が残る	出来ない
2	4	1

④誘導灯を知っていましたか

知っていた	知らなかった
4	3

問5) 地震体験について

①地震を体験または体験の様子を観て、どう思いましたか

怖かった	驚いた	何も思わない
1	6	0

②自室は安全ですか

安全である	危険である
3	4

③今回の体験後、何か地震対策を行いましたか

行った	今後行う予定	行わない
0	6	1

問6) 意識について

①防災センターに参加し、良かったですか

良かった	良くなかった	何も思わない
7	0	0

②防災に対する意識は変わりましたか

変わった	変わらない	どちらでもない
7	0	0

③防災センターに参加後、何かしたことはありますか

ある	ない
1	6

④「ある」と答えた方は何をしましたか

・ごみを捨てた ・消火器の位置を確認した

⑤どの体験が良かったですか、良かったものに○を付けてください。(複数可)

映像体験	消火体験	煙避難体験	暴風体験	地震体験
4	5	4	2	4

⑥今回のような体験を今後も行いたいですか

したい	したくない	どちらでもよい
5	0	2

最後に、ご意見・ご感想をお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・良い経験になった ・実際に体験できて参考になった ・部屋の片づけをした ・備えが必要だと思った ・また訓練や体験できなかった事をやりたい ・メンバーと交流が出来て楽しかった ・共同部屋の地震対策をした ・性格的に冷静沈着な方だから、怖がったり驚いたりすることは無かったんですが、こういう催し物は TV で観たことしかなかったので、実体験できて本当に参考になりました。

入居者に対してアンケートを実施してわかったことは、実際に自分たちが体験すること、他の入居者やホームワーカーが体験している様子を見ることで、これまで入居者会議の中で話をしていただけの時より自分たちの問題として考えるようになり、グループホームに帰ってから部屋の掃除をしたり、消火器の位置を確認したり、誘導灯を確認してみたりと何かしら行動を起していたこともわかりました。

消火器の使い方について、不安が残るという方が半数おられたこと、煙避難体験を通して、実際に避難することを考えると難しいのではないかという回答が多かったこと、また体験をしたいと答えていただいたことから、1度だけではなく、何度も繰り返し行わないと非常時に行動に移すことは難しいということがわかりました。

この結果を参考に、防災訓練を何度も繰り返し行って、今回、参加できなかった入居者の方たちも参加できる機会を作っていく必要があることがわかりました。

▼ △ ▼ △ **事務局便り** ▼ △ ▼ △

事務局 増田 周作

昨年の年末から今日までのあいだ、いろいろなことがありました。

4月からは、新しく職員を迎え、ようやく一段落しました。

特に、今回起こった火事、亡くなった入居者からたくさんのことを教わりました。

また、今いる入居者の強さも改めて知りました。

自分たちもしんどいなか、職員を励ましてくれる入居者、部屋の掃除に取り組んだ入居者、防災についてもこれまでより自分たちに身近な問題として考えるようになりました。

職員からあれこれと指示したり、管理したりしなくても、入居者それぞれが今回の出来事から、自分たちで考えて行動を起こしていることが、“ごく当たり前の生活”なのではないかと思いました。

また、支えるだけの支援ではなく、職員も入居者のみなさんに支えられていることを改めて感じました。

入居者に支えられつつ、入居者の思いに応えられるような事務局になるように、これからも業務を行って行きますので、よろしくをお願いします。

～会費納入のお願い～

昨年度は、利用者の入退去、職員の入退社、役員の交代…と、当法人にはさまざまな変化がありました。その中でもNPO法人が安定した活動を続けていくためには、多くの会員のみなさまのご理解とご協力が切実に重要であることを、改めて思わされる1年でした。会員の皆様には、今後ともよろしく願いいたします。

2015年度の会費の納入を よろしくお願いします！

正会員 3,000円、 賛助会員 2,000円

<振込口座>

【百十四銀行】 中央市場支店 店番 213

普通預金 0252017

非営利活動法人 グループホームネット香川

【郵便局】 01670-4-5576

特定非営利活動法人 グループホームネット香川

(発行) 特定非営利活動法人 **グループホームネット香川**

連絡先: 香川県高松市円座町1124番地6 2階

TEL: 087-885-5270 Fax: 087-887-5955